

校長室から
(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 42

平成30年12月14日(金)発行

読書ノート2018年度前期達成者

朝日新聞デジタルの記事より

小学生に読書の楽しさを知ってもらおうと、大阪読書推進会(大阪市北区)と朝日新聞大阪本社が進める「読書ノート運動」で、2018年度前期(4～9月)の結果がまとまった。

50冊以上を読んだ5、6年生は49校の210人。氏名が朝日新聞と朝日新聞デジタル(<http://www.asahi.com/area/osaka/>)に掲載される。

100冊以上を達成した1～4年生は81校の834人で、氏名は朝日新聞デジタルに載る。

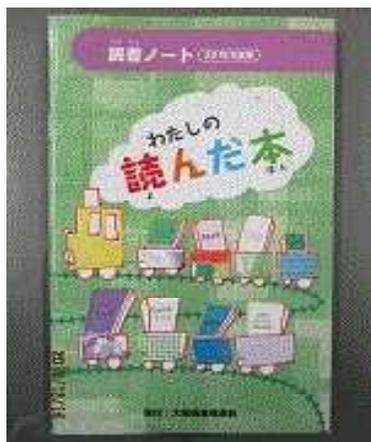
前期は124校に4万9939冊が配られ、全学年達成は84校の1044人。達成者最多ベスト3は大阪市立鶴見南小の75人、同市立神津小の47人、寝屋川市立三井小と四條畷市立田原小の各42人だった。

◇茨木市

【東奈良】(1)阿部希咲、田邊寛介、花城琥太郎、樋口沙羽、宮脇聡士
(2)落合晴香、富田理仁、鳥井瑠斗(4)井上茜

9名のみなさん、おめでとうございます。これからも楽しんで読書を続けてください。読書ノートは1冊で150冊の本を記録できますが、3冊目の読書ノートに入った人もいます。つまり今までに300冊以上の本を読んだことになりま。す。(150冊×2=300冊)すごいですね!

後期の応募は、2月下旬です。今から2ヵ月、がんばって挑戦してみませんか。現在、9名の方が100冊を達成しています。5、6年生は50冊ですよ。



自分でできること

～みんなのことを考える～

今年を振り返ると、大阪と北海道で地震が発生し、西日本豪雨による土砂崩れが起こったり、夏に気温の高い日が続いて熱中症の人が多く出たり、また強い台風が何度も来たりして、日本各地で大きな被害が出ました。

自然災害の原因はいろいろあると思いますが、その中に地球の温暖化があると言われています。人間が石油などを使って二酸化炭素というものが増えました。その結果、地球の気温が少しずつ上がり、異常気象が起こる原因の一つになっています。寒い冬を迎え、お家でも学校でも暖房を入れます。暖房を使わないとカゼをひくので必要なことですが、二酸化炭素が増えます。そのような地球の温暖化が進むのを少しでも止めるため、今月12月は、「地球温暖化防止月間」と定められました。環境のことを考える月となっています。

平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)を契機として、翌年の平成10年度から12月を「地球温暖化防止月間」と定め、国民、事業者、行政が一体となって普及啓発事業を始めとする様々な取組を行うことにより、地球温暖化防止に向けた国民運動の発展を図ることとしました。

この時期を捉え、国民、事業者、行政の各主体が一体となって地球温暖化問題を見直す機会を数多く創出し、あらためてその重要さを認識して頂き、地球温暖化防止のための行動を起こすきっかけとして「地球温暖化防止月間」に様々な取組を行います。(環境省HPより)

しかし最近、プラスチックごみによる海洋汚染が問題になっています。プラスチックは、食べ物や飲み物の容器、またお店に行き買って買った物を入れてもらうポリ袋など身の回りにたくさん使われ、生活が便利になっています。でも、そのゴミが海に流れ、細くなり魚やカメがエサと間違えて食べたり、海岸に大量に流れたりして大きな問題になっています。

そこで、ジュースなどを飲むときに使うプラスチックストローを紙ストローに変える会社が増えているのを知っていますか。年間10億本以上使っている世界中にあるお店がある会社も紙ストローに変えています。

私たちの暮らしは、海や山、川など周りの環境に支えられています。私たちが安心して生きていく権利は、人権の中でも大事なものです。環境のために行動することが人権を守っていくことになります。

みなさんが環境のためにできることはたくさんあります。電気や水の無駄遣いに気をつけることや、買い物でマイバッグを持って行くなど地球だけでなく人権を守る行動についてクラスやお家で話し合っ、て、行動してください。

<みなさんが学校でできること>

節電：移動などで教室を使わないときは、電気を消す。

体育で着替える教室(学習室)の電気をつきっぱなしにしない。

節水：水道やトイレの水を出しっぱなしにしない。